

朝日生命 インターネットアンケート調査 「親」に関して心配に思うこと

～「親がいつか認知症になると思う」が半数以上～
～親の介護費用等の経済的負担は「親の資産で賄う」が4割を超える～

朝日生命保険相互会社（代表取締役社長 木村 博紀）は、11月11日の「介護の日[※]」を迎えるにあたり、急速に高齢化が進む中において、団塊ジュニアを含む40～50歳代が親に関して心配に思うことについてインターネットアンケートを実施しました。

■ アンケート結果の主なポイント

ポイント1	・ 親の認知症発症リスクについて、 <u>半数以上の57.6%がいつか認知症になると思うと回答</u>
ポイント2	・ 親が認知症になった際の介護費用などの経済的負担について、 <u>43.9%が親の資産で賄うと回答</u> ・ 男女別の親の資産で賄うは、男性37.8%、女性50.0%と <u>女性の方が高い結果となった</u>
ポイント3	・ 認知症になった場合、資産が凍結され、預金の引き出しや不動産の売却等が困難になることについて、 <u>詳しくは知らない・聞いたことはないとの回答が84.6%となった</u> ・ 親が現在住んでいる住まいについて、いざという時の処分や相続などについて、 <u>54.7%が話し合ったことはないと回答</u>

■ アンケートの概要について

調査対象：40～50歳代の男性、女性1,108名
実施期間：2019年7月10日～7月16日
実施方法：インターネットアンケート
調査エリア：全国

	回答者数（人）	40歳～49歳	50歳～59歳
全体	1,108	664	444
男性	555	333	222
女性	553	331	222

※「介護の日」

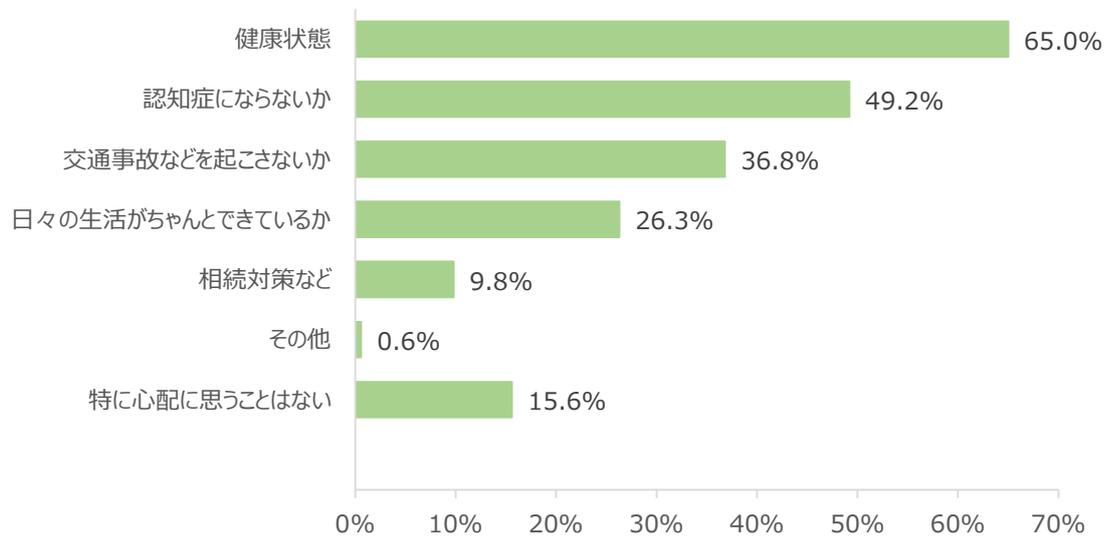
厚生労働省が、「11月11日」を「介護の日」として2008年に制定。

介護について理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者および介護家族を支援するとともに、利用者、家族、介護従事者、それらを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する観点から、高齢者や障害者等に対する介護に関し、国民への啓発を重点的に実施するための日として制定。

1. 親に関する心配事について

Q. 親御様に関して心配に思うことについて、該当するものをお選びください。

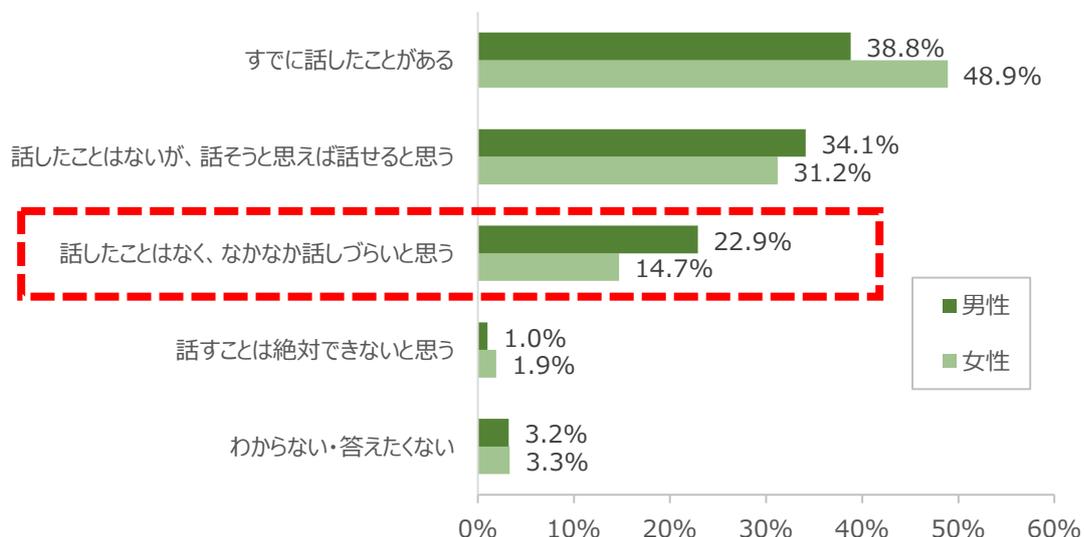
- ✓ 「健康状態」が 65.0%と最も高く、次いで「認知症にならないか」が 49.2%、「交通事故などを起こさないか」が 36.8%となった。



Q. 心配事を、親御様と直接話すことについてどう思いますか。

- ✓ 「すでに話したことがある」が 43.9%と最も高く、次いで「話したことはないが、話そうと思えば話せると思う」が 32.7%となった。
- ✓ 男女別の「話したことはないが、なかなか話づらいと思う」では、男性が 22.9%、女性が 14.7%と、男性の方が心配事について親と話づらいと思っている。

	すでに話したことがある	話したことはないが、話そうと思えば話せると思う	話したことはないが、なかなか話づらいと思う	話すことは絶対できないと思う	わからない・答えたくない
全体 (833名)	43.9%	32.7%	18.7%	1.4%	3.2%



2. 親の認知症について

Q. 親御様の認知症発症リスクについて、あなたの考えに最も近いものをお選びください。

- ✓ 57.6%が認知症になると思うと回答。
- ✓ 男女別の認知症になると思うでは、男性が60.0%、女性が55.1%となった。

	5年以内に認知症になるかもしれないと思う	5年は大丈夫だと思うが、10年以内には認知症になるかもしれないと思う	いつかはわからないが認知症になると思う	認知症にはならないと思う	答えたくない・わからない
全体 (987名)	12.6%	14.5%	30.5%	20.1%	22.4%
男性 (495名)	14.9%	15.4%	29.7%	21.0%	19.0%
女性 (492名)	10.2%	13.6%	31.3%	19.1%	25.8%

Q. もしも親御様が認知症になったら、心配だと思うことをお選びください。

- ✓ 「誰かに迷惑をかけてしまうのではないか」が59.9%と最も高く、次いで「自分に肉体的・精神的負担がかかるのではないか」が53.6%となった。
- ✓ 親と同居・別居別では、親と同居はしている人は「自分に介護の肉体的・精神的負担がかかるのではないか」が66.0%と最も高い結果となった。

	自分に介護の肉体的・精神的負担がかかるのではないか	交通事故や火事などを起こしてしまうのではないか	徘徊してしまうのではないか	誰かに迷惑をかけてしまうのではないか	介護費用の負担がかかるのではないか	家などを含む親の資産管理が大変なのではないか	その他	答えたくない・わからない
全体 (987名)	53.6%	45.1%	44.6%	59.9%	44.7%	19.1%	1.0%	9.7%
親と同居 (250名)	66.0%	38.8%	46.0%	52.8%	50.4%	15.2%	2.0%	8.8%
親と別居 (733名)	49.6%	47.5%	44.3%	62.3%	43.0%	20.6%	0.7%	9.8%
その他 (4名)	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

Q. 親御様が認知症になり介護が必要になった場合、ご自身の介護への携わり方について現時点でのお考えに最も近いものをお選びください。

- ✓ 「主体的に携わると思う」が最も多く、45.9%となった。
- ✓ 未既婚別の「主体的に携わると思う」は、未婚が 52.4%、既婚が 42.6%となった。

	主体的に携わると思う	主体的ではないかもしれないが、多少は携わると思う	あまり携わることはないと思う	ほぼ携わらないと思う	考えたことはない・わからない	答えたくない
全体 (987 名)	45.9%	30.7%	6.1%	3.9%	11.3%	2.1%
未婚 (328 名)	52.4%	19.8%	7.6%	3.0%	14.3%	2.7%
既婚 (659 名)	42.6%	36.1%	5.3%	4.2%	9.9%	1.8%

Q. 認知症になると、介護費用や施設入居費用など経済的な負担が発生する場合があります。今後もし親御様が認知症になった場合、介護費用に対するお考えについて最も近いものをお選びください。

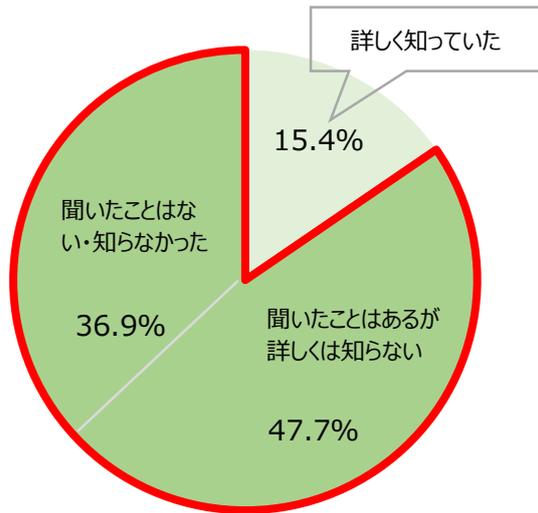
- ✓ 親が認知症になった場合の経済的負担について、43.9%が「親の資産で賄う」と回答。
- ✓ 男女別の「親の資産で賄う」については、男性が 37.8%である一方で、女性が 50.0%となった。
- ✓ 未既婚別の「親の資産で賄う」については、未婚が 38.4%、既婚が 46.6%となった。

	親の資産で賄う	自分の資産で賄う	自分と他の親族の資産で賄う	その他	考えたことはない・わからない	答えたくない
全体 (987 名)	43.9%	9.7%	17.9%	1.1%	25.2%	2.1%
男性 (495 名)	37.8%	13.5%	22.0%	0.4%	24.4%	1.8%
女性 (492 名)	50.0%	5.9%	13.8%	1.8%	26.0%	2.4%

	親の資産で賄う	自分の資産で賄う	自分と他の親族の資産で賄う	その他	考えたことはない・わからない	答えたくない
未婚 (328 名)	38.4%	9.5%	17.4%	0.9%	30.2%	3.7%
既婚 (659 名)	46.6%	9.9%	18.2%	1.2%	22.8%	1.4%

Q. 認知症になると、資産が凍結され、預金の引き出しや不動産の売却などが困難になることがあります。ご存知でしたか。

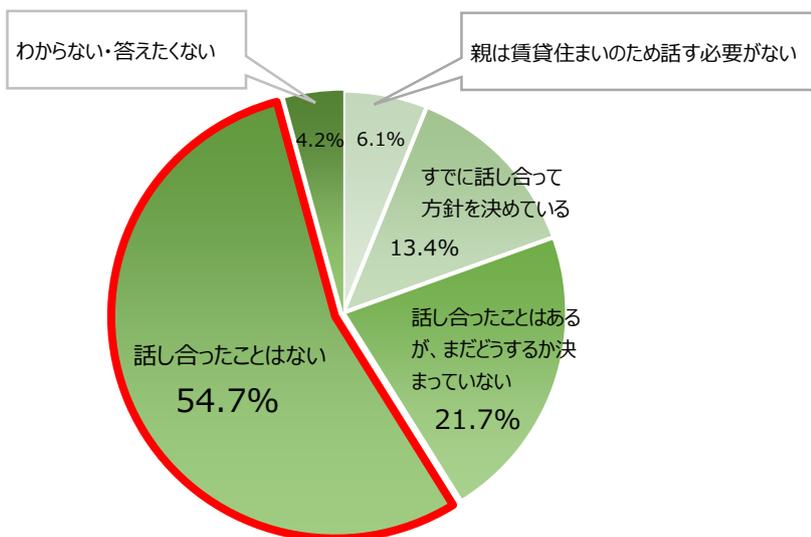
✓ 認知症になった場合資産が凍結され、預金の引き出しや不動産の売却等が困難になることについて、「聞いたことはあるが詳しくは知らない」「聞いたことはない・知らなかった」との回答が 84.6%となった。



3. 親の住まいについて

Q. 親御様が現在住んでいる住まいについて、いざというときの処分や相続など話し合ったことはありますか。

✓ 親が住んでいる住まいの処分や相続について、「話し合ったことはない」との回答が 54.7%と半数を超えた。



以上